
暗い部屋

境康隆

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

暗い部屋

【Nコード】

N8347P

【作者名】

境康隆

【あらすじ】

僕は暗い部屋に閉じ込められた。あの大人の男の人が悪い奴に違いない

僕はいったいどうしたんだろう？

ここは何でこんなに暗いんだろう？

思い出せない。ついこの間まで皆で楽しく遊んでいたはずなのに、今は何でこんなに暗く静かなんだろう。

真っ暗だ。光がまるで差し込んでこない。

あの楽しい遊び部屋とまるで正反対。あそこは光と声と笑顔で溢れていた。

ここはとても暗い部屋だ。まるで棺桶だ。暗く冷たい。

あの子は元気だろうか。僕と遊んでくれたあの子。

僕は毎日毎日あの子と遊んだ。毎日だ。

毎日笑い声に包まれて僕は色んな遊びをあの子としたんだ。

一番好きな遊びはごっこ遊びだった。誰かになり切って、何々ごっこをするのがあの子は好きだった。

勿論僕も好きだった。僕は色んな誰かになり切った。

お巡りさんになったこともあった。お父さんになったこともあった。お医者さんになったこともあった。

その度にあの子は笑ってくれた。

もうあの子は遊んでくれないのだろうか？

あの子は姿を見せない。

代わりに見えるのは何処までも暗いこの部屋。いつもならこの暗い部屋に帰っても、すぐあの子が迎えにきてくれたんだ。

あの子はおやすみって言って僕と別れ、おはようって言って僕に会いにきてくれた。

だからこの暗闇を怖いと思ったことなんて一度もなかったんだ。でも今は怖い。こんなに長いこと、あの子が会いにきてくれないなんてなかったからだ。

あの子はやっぱり姿を見せない。いつしか声も聞こえなくなった。

その代わり、入れ替わるように何処からともなく聞こえてきたのは大人の声だ。遠くから聞こえる大人の声。時に苛立たしげに聞こえる大人の声。

この声の主があの子を隠したに違いない。僕をここに閉じ込めたに違いない。

僕はいつしかそう思うようになった。

だってこの声の主はとても苛立っているように思えたもの。

何かに疲れている。何かに苛立っている。何かに怯えている。

何かを失ったのにそれが何かす分からない。そんな不安な気持ち
がその遠い声から伝わってくる。

そしてその苛立ちを周囲にぶつけている。

悪い人だ。

やっぱりこいつがあの子をどうかしてしまったのに違いない。

僕が本当にお巡りさんなら、この悪い人をやつつけてやるのに。

僕が本当にお父さんなら、この悪い人からあの子を守ってあげる
のに。

僕が本当にお医者さんなら、この悪い人を

そんなことを思っていると、暗い部屋に光がずっと差した。

「まだあつたんだな」

僕は光溢れる部屋の中で、大人の男の人に持ち上げられた。

こいつだ。この声だ。

さあ、かかってこい。僕はお巡りさんだぞ。悪い奴は懲らしめて
やるぞ。それがお巡りさんだからな。

あの子は何処だ？ 僕はお父さんだぞ。悪い奴からあの子を守る
ぞ。それがお父さんだからな。

それとも何処か悪いのか？ 僕はお医者さんだぞ。悪い奴でも怪
我なら見てやるぞ。それがお医者さんだからな。

僕ならどれでもできる。だって僕はあの子と沢山のこつこ遊びを
したからだ。

「……」

大人の男の人は僕をじつと見つめた。

「ほら」

そう言って大人の男の人は、僕を見知らぬ子供に手渡した。

その子はあの子に似ているようで、何処か少し違う子だった。

この子は僕を早速消防士さんにしてくれた。僕とあの子が大好きだったごっこ遊びだ。

「そんな。古いのでいいのか？ 俺の子供の頃の遊び相手だぞ」

大人の男の人はもう苛立った声をしていなかった。

そして僕とこの子のごっこ遊びを、懐かしげにいつまでも見守ってくれた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8347p/>

暗い部屋

2011年1月16日05時35分発行